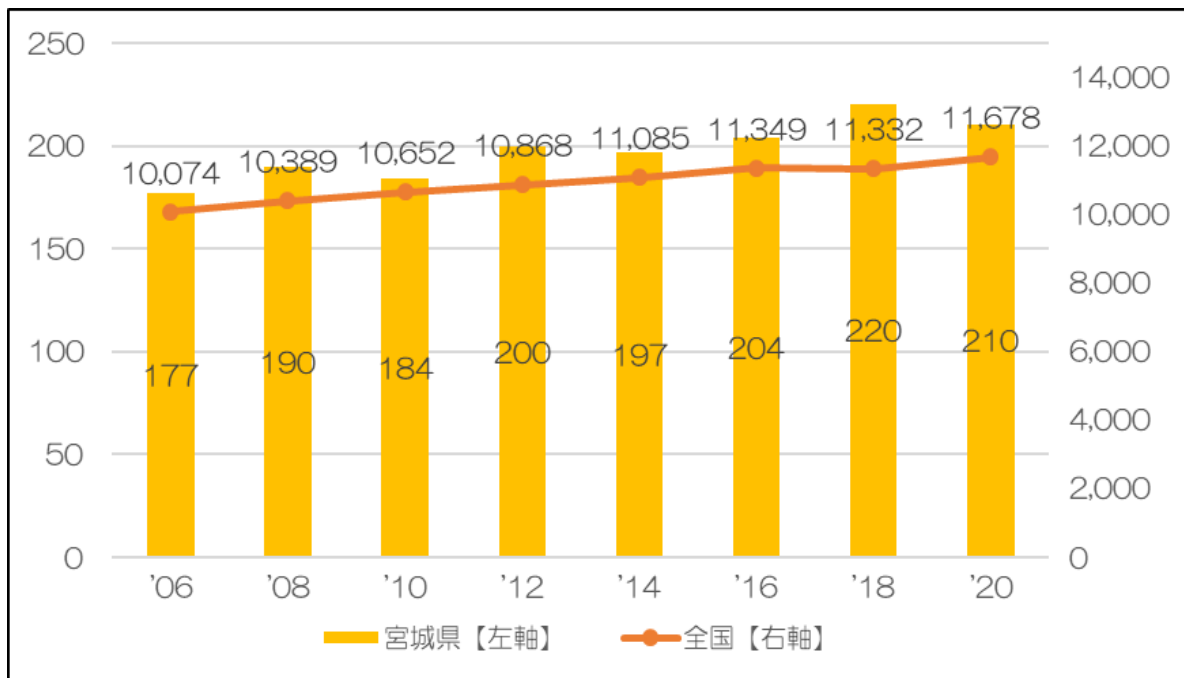


## 産科医師の状況

【全国及び県内の産科・産婦人科医師数の推移】 (単位：人)



【県内の産科医師数の推移】 (単位：人)

		2016 (H28)	2018 (H30)	2020 (R2)
宮城県		204	220	210
医療圏	仙南	11	8	7
	仙台	162	176	169
	大崎・栗原	13	14	16
	石巻・登米・気仙沼	18	22	18

## 分娩取扱医師偏在指標

都道府県・医療圏	分娩取扱医師偏在指標	順位	相対的医師少数区域
宮城県	10.0	26位	-
医療圏	仙南	4.3	267位
	仙台	11.6	75位
	大崎・栗原	5.4	254位
	石巻・登米・気仙沼	7.3	202位

### 【分娩取扱医師偏在指標】

医師の性別・年齢別の労働時間を踏まえた上で、分娩件数1,000件あたりの医師数を示した指標。  
(国が提示)

## 産科偏在対策基準医師数・宮城県における目標医師数

都道府県・医療圏	産科偏在対策基準医師数	現在の医師数	目標医師数	【参考】 産科・産婦人科 医師数
宮城県	131.3人	< 210人	210人	125.5人
医療圏	仙南	5.7人	< 7人	2.0人
	仙台	75.2人	< 169人	97.9人
	大崎・栗原	13.5人	< 16人	11.0人
	石巻・登米・気仙沼	11.1人	< 18人	14.6人

### 【産科偏在対策基準医師数】

「分娩取扱医師偏在指標」が、相対的医師少数区域等の基準値（下位33.3%）に達することになる医師数。

### 【目標医師数】

「現在医師数」と「産科偏在対策基準医師数」の大きい数値を目標医師数とする。（医師確保計画策定ガイドライン）

## 目標医師数を達成するための施策（産科）

### ① 周産期医療従事者の確保・育成

- 総合周産期母子医療センターで専攻医（産科・産婦人科）を指導する指導医の person 費を補助し、県内の地域周産期母子医療センターへの配置、周産期医療体制の維持・継続に努めます。
- 地域医療に新生児科医師を安定して供給できる体制を構築するため、東北大学病院に設置された新生児医療研修センターにおいて新生児科指導医を養成することで、新生児科医師を継続的に育成する取組を支援します。
- 産科医等に分娩手当を支給する医療機関を補助し、産科医等の確保・定着を支援します。

### ② 周産期医療体制の維持・充実

- 各地域の周産期母子医療センターを拠点とし、産科セミオープンシステム等によって、地域の周産期医療機関との連携を図り、安心して子供を産むことのできる体制の維持・充実を図ります。
- 周産期母子医療センター内に医師事務作業補助者等を配置するための経費を補助し、勤務する医師の業務負担軽減を図ります。